

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	自主文化事業					担当部	教育委員会事務局			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	文化振興課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	文化振興係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		20 文化・芸術		4 市民に親しみやすい事業を開催する				
		副目的	20-2								
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン									
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	14 %		委託	86 %		助成	0 %		
	目的 (対象をどの様な 状態にするの)	様々なジャンルの一流の演奏家・アーティストを招聘し、本格的で良質な芸術文化にふれる機会を提供することにより、市民の芸術文化への関心を高める。									
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主文化事業(15,910千円) 市民会館、各市民センターで年間7公演程度自主事業を実施。クラシック・子ども向け・落語など様々なジャンルの公演を開催した。職員は、企画、プロモーターとの契約、PR活動、チケット販売、公演会場・ボランティアの手配・タイムスケジュールを含めたコンサート管理、来場者の対応などの運営を行った。 ①ファミリーステージショー「ドラえもん ふしぎな星のなかまたち」(市民会館)②駒来寄席 林家木久扇・古今亭志ん輔二人会(北里市民センター)③中部フィルハーモニー交響楽団「第22回定期演奏会～名曲の花束～」④優秀映画鑑賞推進事業“昭和”名作キネマ鑑賞会(市民会館)⑤KENTO MORI スペシャルワークショップin小牧(市民会館)⑥清塚信也ピアノリサイタル ～名曲ベストセレクション～(東部市民センター)⑦Ken Katayama チャリティ・コンサート(市民会館) ④は会館と協力し、チラシやチケットの印刷を行い、当日の運営は市民団体が行った。⑤は参加型のダンスワークショップを行い、プロと楽しく共演した。⑦は市民団体が企画し、東日本大震災復興支援事業として市民合唱団を公募して、少年少女合唱団とともにプロと共演するチャリティーコンサートを開催した。市民団体にも協力を呼びかけて展示やDVDの投影を行い、中学生のジュニア奉仕団による募金活動を行うことでさらに復興支援の効果を高めた。 ・舞台芸術祭(3,977千円) 舞台芸術文化の振興のため、出演者とスタッフを公募する市民ミュージカルと市内で活動する公募の演劇団体3団体の発表とを合わせて、舞台芸術祭として実施した。 ・自主文化事業鑑賞友の会事業(770千円) 自主文化事業の鑑賞の機会を通して、会員相互の交流及び芸術・文化の向上に寄与することを目的とし、自主企画のコンサートを2事業及び研修会を実施した。 ・アートマネジメント事業(1,453千円) 自主文化事業の企画・運営の市民参加を促進するため、核となる人材の発掘と育成を目的としたアートマネジメント事業を実施した。「文化資源を活かした文化のまちづくり」をテーマに、市民が主体となって講座を開催し、集大成として「小牧戦国文化祭」を企画運営した。 <p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧山城築城450年につながるよう市民協働による事業の推進を図る。 									
受益者負担	自主文化事業5,300,700円(①1,579,800円②667,500円③1,615,000円④332,000円⑤437,500円⑥668,900円)、舞台芸術祭1,019,500円(参加費420,000円、入場料599,500円)、鑑賞友の会197,000円、⑦とアートマネジメント事業は無料										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	20,745	19,499	22,362	28,665	
		正職員	従事者数	人	0.23	0.25	0.25	0.25
			人件費	千円	1,223	1,329	1,329	1,329
		その他職員	従事者数	人	0.40	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	1,242	1,022	795	795
		費用合計	千円	23,210	21,850	24,486	30,789	
	対前年比	%		94.1	112.0	125.7		
財源	一般財源	千円	19,132	14,190	17,969	19,809		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	4,078	7,660	6,517	10,980		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	績	公演回数	回	目標	4	7	7
実績				5	7	7	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
成果指標名		単位		H21	H22	H23	H24
	入場者数	人	目標	3,800	5,595	5,500	5,000
			実績	2,460	4,421	4,779	
	自主文化事業への来場者の割合	%	目標	70	70	70	70
			実績	48	55	46	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	一般の公演事業の入場料価格に比べ、概ね3割～4割ほど安価な入場料金設定とし、広報及び市内公共施設・スーパー等民間施設、市外文化施設を中心にチラシやフリーペーパー等によるPRを実施した。さまざまなジャンルの事業を実施しているが、公演内容によって偏りが見られる結果となった。
		事業実施における課題等	公演内容によって集客に偏りがあるため、将来的な民間委託も視野に入れながら高い集客力を図るための調査・研究が必要である。
		事業を縮小・廃止したときの影響	市内施設において、気軽に一流の演奏家やアーティストによる文化芸術館賞の機会を提供できなくなり、文化芸術の振興に支障をきたす恐れがある。
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
判定理由	文化芸術の分野は多岐に亘るので、市民ニーズを反映させるために市民と協働して実施したい。また、自主文化事業の実施には専門的な知識が必要となるため、さらなる人材育成が必要であり、専門家や専門の文化団体への委託も視野に入れる必要がある。		
改善案等	事業費(コスト)と受益者負担のバランスを再検討するとともに来場者の増加を図るため、より要望の多い事業内容の選択と実施事業に対する支持層を考慮した効率的・効果的な周知方法を検討する必要がある。自主文化事業の選択・企画・開催について市民協働による実施を進めるとともに将来的な民間委託等を視野に入れ、受け皿となる団体の育成を図っていく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。外部評価を受けた今後の取組方針では、「企画段階から市民が参加できる手法も取り入れるなど、さらに魅力ある事業への改善を図る中で、来場者の増加に努める。」「将来的な民間委託等を視野に入れ、受け皿となる団体の育成を図る。」とされていることから、その取組みを進める必要がある。